

②-3 庁内推進体制の事例について

3. ヒアリングにて確認できた特徴的なポイント

(1) 検討プロセスについて

- ・事業発案から事業実施の方針決定までの調整・検討プロセスを策定し、庁内に周知
- ・PPP/PFI検討プロセスの中に予算確保の仕組みを含めることで、手続きの簡素化

(2) 関係部局の役割について

- ・検討プロセスに応じた関係部局の役割を明確化しており、権限等も明らかにしている
- ・資産管理部局との連携により、事前に対象事業を把握し早期の検討を促す

(3) PPP/PFI推進部局によるサポート体制について

- ・事業の発案から事業の実施までのサポート役として、PPP/PFIに関する情報提供や、庁内方針決定に至るプロセスの支援を実施しており、庁内組織として定着化している
- ・様々な分野の事業検討への関与により、PPP/PFIの経験や情報を蓄積しており、全庁的に網羅的に事業推進が可能となっている
- ・PPP/PFIの推進だけの専門部署ではなく、行政改革やファシリティマネジメント等と併せて体制を構築している

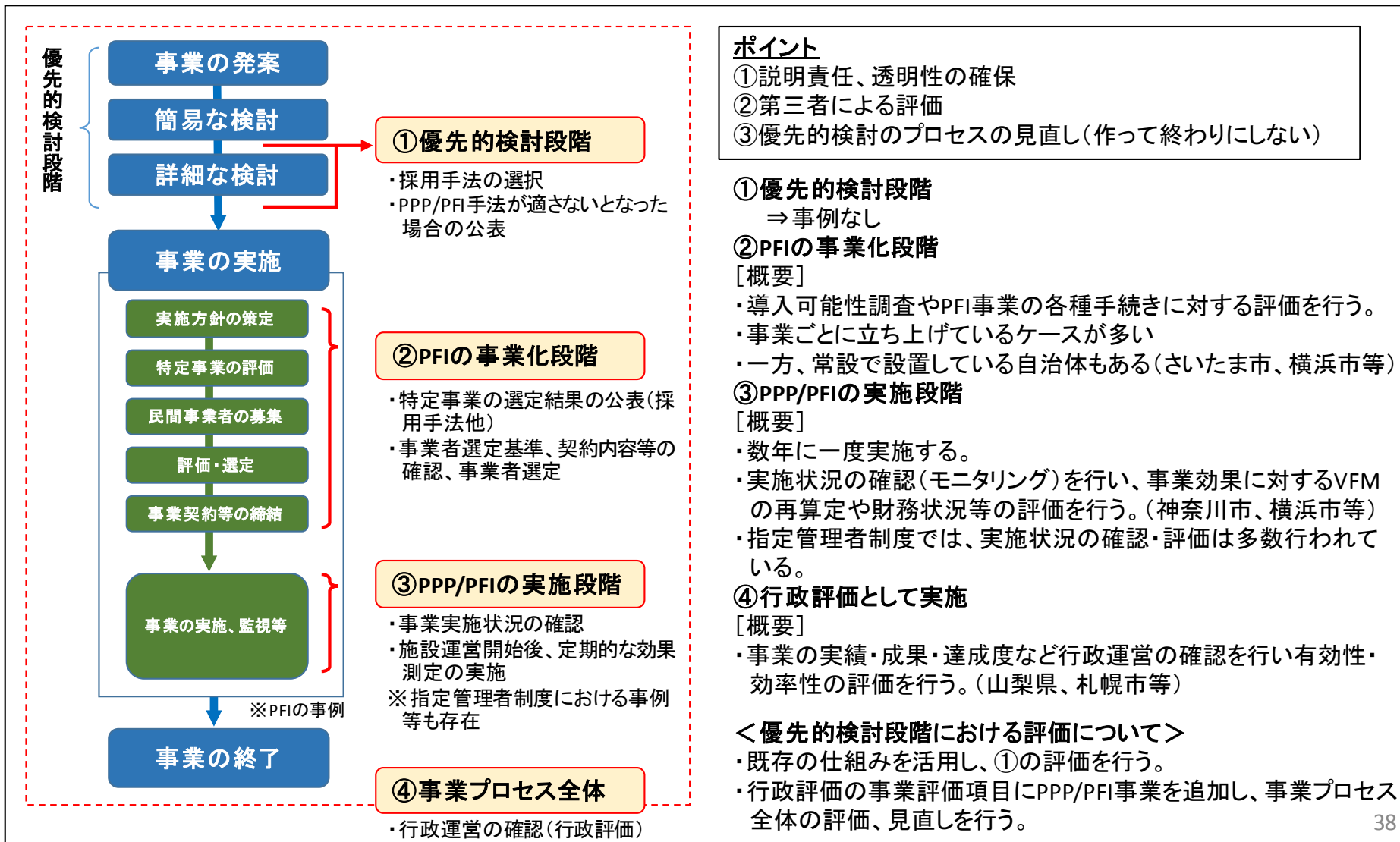
(4) その他の特徴的な点について

- ・PPP/PFI事業のノウハウの蓄積をいかすべく、導入可能性調査まで推進部局で実施
- ・検討プロセスの試行錯誤を踏まえた検討プロセスの見直し(PDCAサイクルの徹底)

③ 第三者評価の仕組み(PDCA)について

優先的検討におけるPDCAの仕組みの構築について

- ・PPP/ PFI事業の段階別の第三者による評価事例を、事例として提示
- ・優先的検討段階における評価については、既存の仕組み等を活用することが考えられる



次回の部会について

○ 第3回優先的検討部会では、以下論点に基づき検証を行う予定。

1. 簡易な検討における数値設定等(論点4)

・PFI実業を実施した地方公共団体へアンケート調査を実施(現在集計中)

2. 中間フォローアップの調査結果について

・国・地方公共団体等へアンケート調査を実施(現在集計中)

3. 優先的検討支援事業の中間報告

・今年度支援先(新潟県上越市、福井県福井市、長野県松本市、静岡県富士市、東京都小金井市)の状況について中間報告

4. 運用の手引(素案)

・本日の議論等も踏まえた運用の手引の素案